



## 理科年表 CD-ROM 版 (1997年)

文部省 国立天文台 編

発行 丸善株式会社

制作 富士通ラーニングメディア

本体価格 26,000 円 (96年版購入者には割引あり)

平成8年11月25日発行

### 資料

お薦め度  
☆☆☆☆☆

仕事に直接使うため、あるいは関連情報を参照するため、理科年表掲載のデータを電子的に読み出せたらどんなに便利だろう。気候・気象のデータや地震の統計なども、日本に住んでいると接することが多く、もとのデータを知りたいことがあります。そういうわけで理科年表の CD-ROM 版が出たときいて、早速使ってみました。

97年版では、大正14年の初版から70年分のデータが入っているとのこと。とにかく基本的なデータは入っています。表の形で盛り込まれている情報を出発点に、いろいろ加工したり、貼り合わせをしたりして、自分なりのデータベースを作ることができます。自分がよく使うデータや関連情報をいちどきに参照するための「グループ化」ができるのも、電子媒体ならではの使い方でしょう。今回はマニュアルに加工例が幾つか示されていますし、実際に CD-ROM にも組み込んであり、使い方に慣れる点で便利でした。ちなみに「理科年表を楽しむ本」(上西一郎著、丸善)もデータと「遊ぶ」手がかりを与えてくれる本です。今後は、ユーザーのノウハウ集ができていくのではないのでしょうか。丸善のホームページで扱うようになりして? <http://www.maruzen.co.jp/index-j.html>

ところが、情報を組み合わせてからちょっと中身をいじろうとしたり、プレゼンテーションのための出力をしようと思うと、不満が出てきます。例えばセル単位で表の編集ができないので、世界の気候表にのっているデータと日本の気候表にのっているデータを合体できません。それぞれの項目数が異なるためです。せっかく印刷機能が付け加わったのですが、グラフの色を変えられません。まあ表を CSV 形式に書き出せるので、凝るたちの人

であれば、自分の好みのアプリケーションで加工することができます。

しかしどんづまりなのは、画像情報です。理科年表の図を単にスキャナーでざっと取り込んだだけ(しかも別のファイルに書き出せない)ので、自分で加工もできない)なので、せめて数字・文字の部分は貼り込みをしてほしい。判読しにくいものさえあるのでは、せっかくのデジタル情報化が泣こうというものです。システムとして256色表示のものを要求しているのに、色もついていません。これはももとの画像データの提供の仕方とからみますし、著作権の問題も出てきそうです。ぜひそうした問題をクリアして、ネットサーフィンならぬ理科年表サーフィンを楽しめるようにしてほしいものです。というとなが身にはね返りそうですが。

形式として、紙版の直訳である必要のない部分もありました。横長の表を縦長にしたとか、2つに分かれている図が本来の形の1つにしたとか。電子媒体ならではの見やすさ・使いやすさを工夫すべきでしょう。家庭用・学校用のもしかしたら十分に大きくはないかもしれないモニターディスプレイで見たときにみやすいように。

というわけで、電子版への注文もいろいろありますが、実は、これを使うにつれて結局はもとの紙版での問題も鮮明になってきました。たとえば定数表示部分では、単位系が不統一であることに気がきました。天文部では光速  $c = 299\,792\,458$ 、物理/化学部では真空中の光速  $2.99792458$ 、地学部では真空中の光速  $c = (299\,792\,458 \pm 1.2)$ 。このような不統一が即座に判明するのも、もしかしたら CD-ROM のご利益の一つかもしれません。

林 左絵子 (国立天文台)